

憲法審査会レポート

2024-2-2

No. 30

編集：平和フォーラム

第213回通常国会憲法審査会をめぐる動向について

1月26日から、通常国会が開催されています。

昨年から浮上した自民党の裏金問題は、その全容は自民党の事実究明への非協力的態度もありいまだ不明ですが、発端の安倍派に限っても所属議員95人（ほぼ全員！）に対して5年間で計6億7654万円が流れていたと報道されており、規模の大きさがうかがえます。

日ごろ「愛国心」「道徳」を振りかざしてきた人たちが、その実まると腐敗していたことは、うすうすわかっていたとは言え、しかしここまでひどいものなのかとあきれるばかりです。そしてこんな人たちが徒党を組んで憲法に手を付けようとしてきた事実を思い起こし、心底嫌悪感を覚えます。

普通に考えれば、自らを恥じ、改憲を云々する資格などないことを自覚するところですが、1月31日の施政方針演説で、岸田首相は次のように述べています。「衆・参両院の憲法審査会において、活発な議論をいただいたことを歓迎します。国民の皆様には御判断をいただくためにも、国会の発議に向け、これまで以上に積極的な議論が行われることを期待します。また、**あえて自民党総裁として申し上げれば**、自分の総裁任期中に改正を実現したいとの思いに変わりはなく、議論を前進させるべく、最大限努力したいと考えています。今年、条文の具体化を進め、党派を超えた議論を加速してまいります。恥を知らねば恥かかず、とはこのことでしょうか。

さらに恥知らずなことに、[辻元清美議員の指摘によれば](#)参議院憲法審査会の自民党の委員21人中に安倍派13人、さらにそのうち11人が「裏金議員」と報道されている人物だそうです。こんなメンバーで憲法を議論しようなどというのは、悪い冗談でしかありません。

いっぽう、昨年の衆議院憲法審査会のなかで持ち出されてきた、国会議員の任期延長などに関する具体的な改憲条文作成のための作業部会設置については、改憲会派内でも議論がまとまっていないことを踏まえればそもそも検討に値しませんし、早急な災害対策と政治腐敗究明が第一に問われる状況にあって優先してとりくむべき事項だとも思われませんが、公明党の北側一雄副代表は記者会見で、あらためて前向きな態度を示しています。

私たちとしては、残念ながらいまなお危険な改憲情勢の只中にあることを確認するとともに、今後の国会内外の動きにいつそう注視していきます。

なお、今年度予算が成立するまでは、衆参ともに憲法審査会が開けないことが通例ですので、2月中は開催がないものと思われませんが、2022年のように維新・国民など改憲会派の後押しに勢いづいて衆議院で早期開催が行われたこともあり、注意が必要です。

改憲をめぐるのなんらかの動きがあり次第、本「憲法審査会レポート」の発行も適宜行っていく予定です。ぜひ引き続きのご注目とご活用をお願いします。

【参考】

第二百十三回国会における岸田内閣総理大臣施政方針演説

https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/statement/2024/0130shiseihoshin.html

岸田首相、改憲に強い決意 「総裁任期中に実現」 国会演説で初めて言及

<https://www.sankei.com/article/20240130-CWPLNTP6K5IGHN5KXIIQGIIZMA/>

“改憲の国民投票には国会発議から周知期間として60～180日間を要する。1期目の任期中の改憲を実現するには、今国会がラストチャンスだ。一方、当面は最優先の課題として、政治への信頼回復が首相の前途に立ちほだかる。政治資金規正法の改正など政治改革がおざなりであれば、一部野党が改憲議論を拒む口実に使いかねない。”

憲法改正、岸田首相が笛吹けど踊らず 質問は維新・馬場代表と国民・玉木代表だけ

<https://www.sankei.com/article/20240201-GXMFURN5VNPFXP6ZGSRDNOI6KQ/>

“岸田文雄首相（自民党総裁）は施政方針演説で9月までの総裁任期中の憲法改正に意欲を示したが、1日までに衆参両院の代表質問で触れたのは日本維新の会と国民民主党だけだった。自民派閥の政治資金パーティー収入不記載事件に関心が集まり、改憲は「笛吹けど踊らず」の状況だ。”

公明、改憲条文案を検討 緊急事態時の国会議員の任期延長

<https://mainichi.jp/articles/20240131/k00/00m/010/153000c>

“公明党の北側一雄副代表は31日の記者会見で、緊急事態時の国会議員任期延長を巡り、憲法改正に向けた条文案の検討を進める考えを示した。”

立憲・泉氏「汚れた手で憲法を触るな」 与野党が首相演説を批判

<https://www.asahi.com/articles/ASS1Z6VXSS1ZUTFK00P.html>

“岸田文雄首相が30日に衆参両院で行った施政方針演説に対し、与野党からは「やる気があるのか」「説得力がない」といった批判が相次いだ。自民党派閥の裏金問題の実態解明には言及がなく、焦点の政治改革も「肩透かし」の内容だったためだ。”

辻元議員が激怒「丸川珠代議員に、山谷えり子議員…

自民党の憲法審査会21人中11人が『裏金議員』！」裏金総額はなんと5000万円

<https://jisin.jp/domestic/2289772/>

“《今日届いた参議院憲法審査会のメンバー表で驚いた。自民党21名中、安倍派13名、報道によればうち11名が「裏金議員」。しかも差し替えた幹事が二人とも該当とは！2403万円の山谷議員、700万円の丸川議員ら11名で計五千万以上。「裏金」を作った議員に憲法審査会の資格なし。変えない限り議論はできない》”